

【第1号議案】

一般社団法人新潟ニュービジネス協議会 2025年度事業計画

基本方針

新潟ニュービジネス協議会は、従来の業種や業態の枠にとらわれることなく、新たな事業や市場の創造を積極的に行おうとする個人や企業を支援することを通じ、新潟経済の健全な発展に寄与することを目的に、平成9年に設立されました。

昨年11月には日本ニュービジネス協議会連合会の全国フォーラムがこの新潟の地で開催され、全国から多くの会員の皆様にお集まりいただきました。

「動 Dou 時代の変化に立ち向かおう」をテーマに地方の特性を活かしたビジネスの創造と地方を活性化させるビジネスについてヒントをいただいたように思います。

今、世界情勢は第2次トランプ政権の誕生により大きく変わろうとしており、国内では人口減少、人手不足、物価高などの課題を多く抱えており新たな対応を迫られております。

このような変化に立ち向かえるよう新しいビジネスや新しい事業に向けた起業の機運を高めてまいりたいと思います。また、新潟の企業がイノベーションを起こし新事業の創造に向かって挑戦できるように支援していきたいと思っております。

〔2025年度重点事業〕

- 1.多種多様な人材の特色を活かしたマッチング支援、JNBや他団体との連携を推進いたします。
- 2.新潟県内の起業や創業を目指す個人に対し、事業創造や新事業創出に向けたニュービジネス活動や起業風土醸成のための活動を、より積極的に支援することで、県内産業の発展と地域経済の発展化に貢献していきます。
- 3.企業・大学・関係機関等と連携した産学官連携によるニュービジネス啓発、研究活動など、様々なビジネス創出を支援し、新ビジネス・起業風土を高めるための事業を推進いたします。
- 4.新潟県の企業がイノベーションを起こし新事業の創造を可能にするための研究。
- 5.協議会の強靱な基盤づくりのため、会員数の増員を目指します。

(基本骨子)

- 日本ニュービジネス協議会連合会と連携した、様々な事業への取組
- 「企業・個人・学生の交流・マッチング」や「起業の風土づくり」のための事業の重点的な取組
- 各委員会が精力的に事業を企画・実施できるよう支援
- 関係機関・団体等と連携した支援活動を展開
- 魅力ある事業を行うための基盤強化へ向けた会員拡大への取組
- NIIGATAベンチャーアワードの主催による新潟県内で新事業創出に挑戦する企業の発掘と支援

以上

2025年度事業創造委員会 年間事業計画/事業予算 (案)

委員長	加藤竜司	副委員長	菊野麻子	副委員長	
副委員長		副委員長		幹事	

1. 目的

会員相互の情報共有、学習等を通じて新たな事業機会を発掘し、異業種交流、企業間連携により革新的なビジネスを創出する

2. 事業計画

1. (例会事業：地域資源×ビジネス創出セミナー) 会員内において（もしくは他のNBC会員も含めて）新潟の特産品（食、農産物、日本酒、観光資源）を活かしたビジネスモデルの紹介、アイデア創出ワークショップを行う。例会を通して、新潟の起業家、地元企業のPRにつなげ、新潟の魅力を発信する機会の場を提供する。2. (資金調達&補助金活用セミナーの開催) 事業拡大や新規事業立ち上げのための資金調達手法（補助金、助成金、投資など）について、各行政担当者、専門家を招いて事例も交えて解説を行う、当委員会において、サポートできる専門家、各種機関を紹介を行う。3. (DX、AI活用セミナー) 中小企業がデジタル技術、時に最新のAIを活用して、どのように業務効率化や新規事業、また新規採用活動、人事評価に役立てていくかについて専門家より実践型のセミナーを開催し、会員企業の業務にフィードバックできるようにする。4. (事業承継&M&Aセミナー) 新潟の中小企業が直面する事業承継課題をM&Aや社内承継を活用して解決する方法を解説する。円滑な事業承継、成長戦略をサポートする事業となる。

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	100,000	1. 地域資源×ビジネス創出	100,000
例会開催費	100,000	2から4の各種セミナー	100,000
合計	200,000	合計	200,000

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
補助金活用			MAセミナー		例会開催
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
	AIセミナー				

一般社団法人新潟ニュービジネス協議会

2025年度 起業家支援委員会 年間事業計画/事業予算 (案)

委員長	土田 衛	副委員長	植木 一範	副委員長	林 拓矢
副委員長	石橋 正利	幹事	岡田 茂久	幹事	山田 伸吾

1. 目的

起業やニュービジネス・各種事業に関する研究や勉強と、関係機関・団体等と連携した次世代への起業支援・キャリア支援等を実施する。

2. 事業計画 以下各事項への取り組みを予定する

【1】 起業家支援事業

(1)新潟市・キャリア啓発事業への協力(平成21年度より継続。17年目)

…市内中学を対象の講演会にて、起業や地元就労等を紹介・解説し、将来就く職業の夢や目標を考えてもらう機会とする。

(2)新潟県・アントレプレナーシップ教育事業への協力(平成28年度より継続。10年目)

…県内高校生・中学生・小学生等が対象の講演会にて、アントレプレナーシップ(起業家的精神)の醸成となる職業講話を行う。

(3)新潟市・高等学校等教育コンソーシアムへの参画(令和3年度より継続。5年目)

…職業選択や起業へヒントとなるべく各職業について詳しく解説する授業・講演を行ったり、生徒の起業プランに対する指導講評やアドバイスを実施するなどし、起業家教育・キャリア教育への支援を行う。

【2】 学生・地域・起業家による地域活性化事業

学生と地域・各組織が交流を深め、地域の魅力や課題を見直し学生と地域で新しい事業の可能性を模索する。実施時期は検討中。

【3】 ビジネス研究事業

次世代の起業家の育成や会員企業の研鑽のため、地元で活躍する企業や職業人を招聘する等により、起業の実現への取り組みや起業家教育またはビジネスノウハウを学ぶ勉強会・講演会等を企画する。秋の実施を予定し例会としての開催も検討。

【4】 委員会の定期開催

(1)各事業の企画・検討・準備・報告等を行う

(2)委員会メンバーを講師とするミニ講演会を随時開催し、【1】(1)のダイジェスト版の発表や多方面の事業理解を図る

(3)同日に懇親会を開催し委員会内の更なる親睦を図る

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	100,000	委員会活動事業費	80,000
例会開催費	100,000	例会開催費	100,000
		予備費	20,000
合計	200,000	合計	200,000

4. 年間スケジュール案

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
4月下旬：委員会開催 (withキャリア講師陣) = 4月23日(水)	5月下旬：委員会開催 = 5月22日(木)	6月下旬：委員会開催(研究事業(or例会)候補者挙出・検討) = 6月25日(水)	・7月4日(金)通常総会 ・7月下旬：委員会開催 = 7月__日()	検討中	9月上旬：委員会開催 (研究事業(or例会)告知準備完了) = 9月__日()
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
10月上旬：委員会開催 (研究事業(or例会)役割分担、キャリア講師協力要請準備) = 10月__日()	11月上旬： 研究事業(例会)開催 = 11月__日()	12月上旬：委員会開催 (講師等々準備・忘年会) = 12月__日()	1月後半：賀詞交歓会	2月上旬：委員会開催 (事業計画・報告検討) = 2月__日()	3月上～中旬：委員会開催 (次年度事業準備開始) = 3月__日()

2025年度 国際ビジネス委員会 年間事業計画/事業予算

委員長	高橋克郎	幹事	山田伸吾		

1. 目的

--

2. 事業計画

--

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	100,000		
例会開催費	100,000		
合計	200,000	合計	0

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月

2025年度 地域未来創造委員会 年間事業計画/事業予算（案）

委員長	永瀬 俊彦	副委員長	小木 将綱	副委員長	諸橋 奈々
副委員長	池田 拓史	幹事	中山 光博	幹事	長谷川 卓

1. 目的

事業創造を通じ、新たな人財との繋がりや地域発展のきっかけを創る。

2. 事業計画

NIIGATAベンチャーアワード2025（案）

（スケジュール）

募集期間 2025年3月17日（月）～5月9日（金）

一次審査 2025年5月中旬

公開二次審査 2025年6月2日（月）

（二次審査会場）

ホテルイタリア軒 3F サンマルコ

（前年度からの変更点）

- ・二次審査参加者数を減らし個々のプレゼン時間を長く確保することで審査精度向上と内容への理解が深まる。
- ・表彰内容に「AI賞」を設置し、AIによる審査取り入れるなど、時代に即した演出を加える。

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	100,000	委員会活動費	100,000
NIIGATAベンチャーアワード2025	1,000,000	NIIGATAベンチャーアワード2025	1,000,000
合計	1,100,000	合計	1,100,000

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
		新潟 ベンチャーアワード 6月2日（決定）			
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
全NBC会員を対象とした講演会等のイベント開催①（日程未定）					全NBC会員を対象とした講演会等のイベント開催②（日程未定）

2025年度 総務・会員増強委員会 年間事業計画/事業予算（案）

委員長	小木 将綱	副委員長	山本 修	副委員長	
副委員長		副委員長		幹事	小林 堅治

1. 目的

魅力ある事業・交流を通して、入会への関心を高め入会者を募る。さらには、既存会員への積極的な参加を促すよう努める。

2. 事業計画

1. 会員拡大事業 ～会員数30名増を目標に入会を促進～

- (1) 他団体等の協力を得て、入会候補者向けの説明を行う。
- (2) 入会候補者を活動に招待する。
- (3) 「新入会員紹介キャンペーン」の実施：入会候補者を紹介した既存会員に対し、1件につき2,000円の商品券（QUOカード等）を先着30名に進呈する。

2. 会員交流事業 ～魅力ある事業や交流の場の提供～

- ・参加したいと思われる活動を提供し、会員の積極性を高め会員維持と入会促進につなげる。
- (1) 定時総会交流会、賀詞交歓会の企画・運営を行い、他の委員会同士のコミュニケーションを促す機会を提供する。
- (2) JNBや他地域NBCとの連携を強め、全国組織ならではの事業を提供する。

3. 情報事業 ～内外へ向けた発信と収集～

- ・活動状況を内外へ向け随時発信する。また、会員からの意見を収集する。
- (1) 最新ビジネス情報や、会員企業の事業案内をメールマガジン等で発信する。
- (2) SNS、Webサイトを通じて活動を広く紹介する。
- (3) Webサイトリニューアル 年度内の完成を目標にし、完成後は発信の強化と事務局業務の効率化に努める。
- (4) 情報発信プロジェクトとして、会員企業・メンバーを取材し情報発信を行うことで、新たな会員相互の交流を醸成する。

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	300,000	理事会、総会、新年会開催費	300,000
広告宣伝費	60,000	新入会員紹介キャンペーン	60,000
合計	360,000	合計	360,000

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
	理事会	委員会	定時総会		
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
	委員会		新年会		

委員長	小木將綱	副委員長	山本修	副委員長	
副委員長		副委員長		幹事	小林 堅治

1. 目的

県内企業・メンバーが200社の会員を抱える経済団体、新潟NBC。近年会員が増えている中、会員とその企業について相互の理解を深めるため、メンバーへの取材を記事にして情報発信を行い、新たな会員相互の交流を通じて、新たなものを生みだし変革を起こす契機となることを目的とする。

また、取材は地元大学生の協力を得て行き、学生ならではの目線で行う。プロジェクトを通じて学生には社会と接する場と県内企業を知ってもらう機会を提供する。

2. 事業計画

≪取材形式≫ 企業訪問インタビュー 取材希望者を募り、総務・会員増強委員会でアポイントを取り、会員企業に伺ってインタビューを行います。

≪取材内容≫ ・会社概要（具体的な業務内容）・会員個人の経歴（高校以上の経歴・部活動）・仕事をする上で大切にしていること・憧れの人や尊敬している人・休日の過ごし方（趣味のご紹介）・大きな決断をする時の決め手 等

≪取材協力者≫ 次世代BASE・・・県内の学生と社会をつなぐコミュニティ
岩田文月（新潟大学創生学部）／ 網代和花（新潟大学創生学部）／ 高見紗羽（新潟青陵大学）

≪情報発信≫ 取材記事は新潟ニュービジネス協議会のホームページで発信し、会員、非会員、地元学生が目に見えるものとする。

≪取材者数≫ 40社目標（取材費全額負担でも構わない方がいた場合は取材先を増やします。）

≪メンバー≫ 【総務・会員増強委員会】

小木將綱・・・委員長「決定権者」

山本 修・・・副委員長「実行責任者」

野崎達也・・・取材マニュアル作成担当・取材協力 / 本間聡、佐藤貴洋、山田伸吾・・・アポイント担当・取材協力 /

村山雄亮・・・取材記事チェック / その他会員・・・取材協力

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	200,000	次世代BASE	400,000
取材協力費【取材会員5,000円負担】	200,000		
合計	400,000	合計	400,000

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
取材先選定	会員への案内 取材開始	取材 構成	取材 構成	取材 構成	取材 構成
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
取材 構成	HPに随時アップ 会員への周知			会員へのアンケート	報告書作成

2025年度 JNB関連・関係機関交流事業 年間事業計画/事業予算 (案)

委員長	—	副委員長	—	副委員長	—
副委員長	—	副委員長	—	幹事	—

1. 目的

JNB（日本ニュービジネス協議会連合会）事業への参加や地域NBCとの連携を進め、全国組織の一員であることの強みを活かした活動を実施する。

2. 事業計画

1. JNB全国フォーラム等への参加

事業への参加を通じて、活動の輪を全国に広げるべく会員へ周知し積極的な参加を促す。

2. JNB表彰制度への推薦

地域未来創造委員会主導のもと、ニッポン新事業創出大賞表彰制度へ地元企業を推薦する。

3. 地域NBCの情報交流とニュービジネス情報を共有

横のつながりを重視する企画を他地域とともに検討し、交流によるビジネスチャンスを創出する。

3. 事業予算

単位：円

収入の部		支出の部	
委員会活動費	1,000,000	JNB・地域NBC会議費等	300,000
		JNB年会費	600,000
		JNBロゴ統一関連	100,000
合計	1,000,000	合計	1,000,000

4. 年間スケジュール

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
別紙のとおり					
10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月

新潟NBC/JNB年間スケジュール（2025～2026年）【案】

※日程は変更の場合あり

2025年

2025/3/28現在

月	日	曜	時間	新潟NBC		JNB/全国NBC	
				内容	会場	内容	会場
1月	17日	金	16:00~17:30	—	—	JNB賀詞交歓会	ANAインターコンチネンタル東京
1月	28日	火	17:30~18:00	2024年度第3回理事会	ホテルイタリア軒	—	—
				第13回（最終）全国フォーラム実行委員会			
				18:30~20:00			
3月	28日	金	17:00~18:00	2024年度第4回理事会	ホテルイタリア軒・オンライン	—	—
5月	22日	木	17:00~18:00	2025年度第1回理事会	ホテルイタリア軒・オンライン	—	—
6月	2日	月	15:30~	NIGATAベンチャーアワード2025公開審査	ホテルイタリア軒	—	—
			※時間変更の場合あり 18:30~	懇親会			
6月	18日	水	12:30~18:30	—	—	JNB定時総会、懇親会	ホテル雅叙園東京
6月	30日	月	—	—	—	ニッポン新事業創出大賞募集期限	—
7月	4日	金	15:30~	2025年度定時総会	ホテルイタリア軒	—	—
			※時間変更の場合あり 18:00~	委員会企画イベント（未定）			
			19:00~20:30	懇親会			
7月	14日	月	15:00~18:30	—	—	若年層起業家教育イベント	宮城県仙台市
7月	18日	金	15:00~17:00	—	—	全国事務局会議	神奈川県横浜市・オンライン
8月	7日	木	—	—	—	ニッポン新事業創出大賞一次審査	オンライン
8月	28日	木	—	—	—	ニッポン新事業創出大賞二次審査	JNB会議室
9月	13日	土	未定	—	—	若年層起業家教育イベント	栃木県宇都宮市
9月~11月			未定	2025年度第2回理事会	ホテルイタリア軒	—	—
10月	22日	水	18:30~（予定）	全国フォーラム（前夜祭）		電気ビル共創館みらいホール ホテルニューオータニ博多	福岡県福岡市
10月	23日	木	13:30~（予定）	第21回JNB新事業創出全国フォーラムin九州			
10月	24日	金	—	全国フォーラム（エクスカージョン）			

2026年

月	日	曜	時間	新潟NBC		JNB/全国NBC	
				内容	会場	内容	会場
1月	27日	火	16:00~17:30	—	—	JNB賀詞交歓会/周年	ホテルニューオータニ東京
1月	未定	未定	未定	2025年度第3回理事会	ホテルイタリア軒	—	—
				新春賀詞交歓会			
3月	未定	未定	未定	2025年度第4回理事会	ホテルイタリア軒	—	—

1. 収入の部

(単位 円)

部門	費目	摘要	予 算		2024年度 実績見込
			2025年度	2024年度	
会費収入等 (2025.3見込会員数)	個人会員会費	(@15,000×115)	1,725,000	1,344,000	1,451,000
	特例法人会員会費	(@20,000×6)	120,000	100,000	105,000
	法人会員会費	(@60,000×86)	5,160,000	4,100,000	4,212,500
雑収入		全国フォーラム関係費	0	0	302,452
		受取利息等	0	0	24,244
収入合計			7,005,000	5,544,000	6,095,196

2. 支出の部

部門	費目	摘要	予 算		2024年度 実績見込
			2025年度	2024年度	
事業創造委員会	会議費	委員会活動	200,000	100,000	11,000
起業家支援委員会	会議費	委員会活動	200,000	100,000	0
国際ビジネス委員会	会議費	委員会活動	0	100,000	0
地域未来創造委員会	会議費 ※アワード別会計	委員会活動	100,000	100,000	6,600
総務・会員増強委員会	会議費	理事会、総会、新年会	300,000	250,000	280,230
	広告宣伝費	新入会員キャンペーン、パンフレット	60,000	60,000	20,000
	広告宣伝費(新)	企業訪問インタビュー	200,000	0	0
JNB関係機関交流	会議費・旅費交通費	JNB、関係機関	300,000	300,000	398,676
	支払負担金・使用料	JNB年会費等	600,000	390,000	397,000
	広告宣伝費(新)	JNBロゴ統一関連	100,000	0	0
管理費	使用料	HP運用、会計、Microsoft	200,000	200,000	224,159
	支払報酬・租税公課	決算、変更登記	190,000	200,000	250,200
	事務局管理費	賃借料、消耗品費、印刷費	900,000	700,000	716,557
	事務局人件費	給料手当、福利厚生費等	3,400,000	2,700,000	3,466,662
減価償却費	ソフトウェア、什器備品	HP(1年目)、スピーカー(2年目)	106,000	85,000	124,542
他会計振替		法人税払等	0	110,000	0
支出合計			6,856,000	5,395,000	5,895,626

収入 - 支出 ※予備費	149,000	149,000	199,570
--------------	---------	---------	---------

2025年度収支予算 NIIGATAベンチャーアワード2025

(2025/4/1~2026/3/31)

2025/2/20現在

1. 収入の部

単位：円

	2025年度 予算額	2023年度 実績額	摘要
協賛金収入	1,000,000	980,000	2023年度41社
雑収入	0	5	
合計	1,000,000	980,005	

2. 支出の部

	2025年度 予算額	2023年度 実績額	摘要
事業費			
広告宣伝費			
ホームページ、チラシデータ	110,000	110,000	年間更新料
チラシ印刷費	10,000	1,329	
SNS広告等	66,000	55,000	Facebook広告（応募者募集、来場募集）
会議費			
運営会議会場費	0	25,000	
審査会・表彰式会場費	260,000	273,965	登壇者懇親会費含む
イベント運営費	350,000	300,000	
表彰（副賞）関係	150,000	149,908	入賞者表彰、副賞等
通信運搬費	10,000	9,520	チラシ等発送費
消耗品費	30,000	42,381	
手数料、雑費	14,000	935	振込手数料、予備費
合計	1,000,000	968,038	

3. 次期繰越

	2025年度 予算額	令和4年度 実績見込	
次期繰越	0	11,967	